

地域医療

①訪問看護：看護師等がご自宅を訪問し、医師の指示による医療処置や病状の観察、医療機器の管理や療養上のお世話、家族への介護支援や相談なども行います。

②訪問リハビリ：理学療法士等がご自宅を訪問し、ご自宅の環境に合わせた機能訓練の実施や、必要な福祉用具や住宅改修の検討、自宅で行える運動や動作の指導などを行います。

③医療機器メーカー：在宅用の吸引器や人工呼吸器などの医療機器や非常用電源等の確保の際相談ができます。

④地域のかかりつけ医：何でも相談でき、必要に応じて専門医や専門の医療機関に紹介してくれる身近で頼りになるお医者さんです。

⑤薬局：医療ケアに必要な物品（衛生用品など）の配達や通院が困難な方に対し、医師や歯科医師の指示のもと薬剤師が自宅等に訪問し、薬の正しい飲み方の説明、服薬状況の確認などを行います。

⑥障害者歯科診療所
障害のある方に安心して歯科診療をしてもらえるように障害者歯科診療所を開設しています。バリアフリーで診療台まで車いすで行くことができます。時間予約制です。予約は、保健センターか、木曜の午後については障害者歯科診療所へご連絡ください。

行政

⑦保健センター Tel0566-48-3751
育児相談や赤ちゃんサロン、乳幼児健診などを行っています。

⑨障害者関係の手当（福祉課社会福祉係） Tel0566-95-9884
障害をお持ちのお子さん、または扶養している保護者に対して国や県、市から手当が受けられる場合があります。

⑩障害者手帳の交付（福祉課社会福祉係） Tel0566-95-9884
身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の申請ができます。

⑪補装具、日常生活用具の支給（福祉課社会福祉係） Tel0566-95-9884
補装具 身体障害や難病がある方に対し、補装具（車いす等）の購入や修理及び貸与に関する費用の助成を受けることができます。
日常生活用具 日常生活を送る上で、障害があることにより必要となる用具（痰吸引器等）で、日常生活用具購入に対する費用の助成又は用具の支給を受けることができます。

⑫税金・公共料金等の減免割引等の申請（福祉課社会福祉係） Tel0566-95-9884
障害者手帳をお持ちの方やその扶養者等で所得税や住民税等の軽減措置が受けられます。障害者の状態などにより細かな要件があるため、詳しくは申請先にお問い合わせください。

⑬衣浦東部保健所 Tel0566-21-4778
子どもの相談や家庭訪問、家族の集い等を開催しています。
また小児慢性特定疾病（赤ちゃん・子どもの慢性的な病気のうち、治療に相当期間を要し、医療費の負担も高額となるもの）に関しては医療費助成が受けられ、その制度の申請ができます。

⑭児童発達支援ネットワーク事業（福祉課発達支援係） Tel0566-95-9885
発達相談・・・18歳未満こどもの発達に関する相談を行っています。必要に応じて、専門職（作業療法士、言語聴覚士）の相談（予約制）につないでいます。
巡回支援・・・保育園、幼稚園、認定こども園、市内小中学校、児童クラブ等へ専門職（作業療法士、言語聴覚士）が巡回し、支援者への助言を行っています。
支援者、保護者向け研修・・・支援者のスキルアップのための研修や保護者向けの研修（ペアレントプログラム）を行っています。

福祉

⑧障害福祉サービス（福祉課社会福祉係） Tel0566-95-9884
福祉課にて事前に相談、申請が必要です。受給者証を発行後、利用できます。

利用できるサービス

- ・児童発達支援：未就学児を日中施設に通わせ、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練などを行います。
- ・放課後等デイサービス：学校通学中の障害児を、授業の終了後又は休業日に施設に通わせ、生活能力の向上のため必要な訓練、社会との交流の促進等を行います。
- ・保育所等訪問支援：保育所等を訪問し、障害児に対し集団生活への適応のための専門的な支援、その他必要な支援を行います。
- ・居宅訪問型児童発達支援：外出できない障害児の自宅等を訪問して、日常生活における基本的な動作の指導、知識の付与及び集団生活への適応訓練等を行います。
- ・居宅介護：ホームヘルパーが自宅に訪問して入浴、排せつ、食事などの介護を行います。通院時の介助等も行います。
- ・短期入所：自宅で介護をする方が病気の場合などに、短期間、夜間も含め、施設で入浴、排せつ、食事の介護等を行います。
- ・移動支援：外での移動が困難な方が、外出及び余暇活動等社会参加を行うための外出支援をします。
- ・訪問入浴：身体障害や難病などで自宅の浴槽での入浴が困難な人に対し、自宅に浴槽を持ち込み、入浴や洗髪等を行います。

保育・教育

⑮にじの学園（福祉課発達支援係） Tel0566-95-9885
母子通園の療育施設で療育、作業療法、言語療法、理学療法、心理相談等が行えます。
年齢：概ね2歳～が対象となります。通園頻度：就園前2回/週、3歳児以上4回/週です。

⑯特別支援学校幼稚部
・視覚障害：岡崎盲学校幼稚部 Tel0564-52-1282
・聴覚障害：岡崎ろう学校幼稚部 Tel0564-45-2830

⑰特別支援学校
・知的障害：安城特別支援学校（安城市） Tel0566-99-3345
豊田高等特別支援学校（豊田市） Tel0565-54-0011
・肢体不自由：ひいらぎ特別支援学校（半田市） Tel0569-26-7131
・病弱・身体虚弱：大府特別支援学校（大府市） Tel0562-48-5311
・視覚障害：岡崎盲学校（岡崎市） Tel0564-52-1282
・聴覚障害：岡崎ろう学校（岡崎市） Tel0564-45-2830

その他

⑱親子の会「すまいる」（連絡先）Eメール kentatsumama@ezweb.ne.jp(永井)

ひいらぎ特別支援学校に通っている子とその家族が中心に2～3か月に1回学校の話、病院やリハビリ訓練、装具などについて情報交換や勉強会をしています。

令和 () 年度 サポートシート



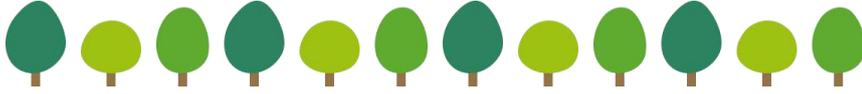
ぼく・わたし () には

こんな特徴があります



好きなこと・物・人は

です。



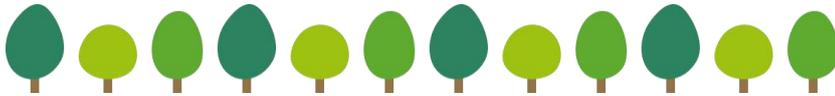
生活面 身辺自立 (トイレ・着替え・食事・その他) 行動

睡眠 こだわり (対人・コミュニケーション面

感覚 (視覚、音、におい、触感、汚れが気になる、人込みが苦手、その他)

その他 ()

こうすると出来るが増えます
(こんなことが出来るようになりました)

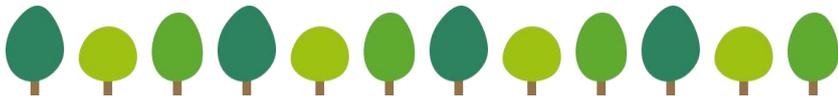


学習面 理解面 多動 (離席) 集中時間 (分くらい)

読み・書き 計算 宿題

その他 ()

こうすると出来るが増えます
(こんなことが出来るようになりました)



その他 (あれば自由に)

こうすると出来るが増えます
(こんなことが出来るようになりました)



令和【 3 】年度 サポートシート 記入例

(碧南小) 学校 (5) 年 氏名 (碧南 太郎) 記入者 (母)

ぶちサポートブック： **あり** ・ なし

「こんな思いで育ててきた」「この先こんなふう
に育ててほしいな」など思いを自由に書いてみ
ましょう。

本人の思い

恐竜がすき。もっといろんなことを調べて、
博士になりたい。先生や友だちにも恐竜の
ことか教えてあげたい。



親御さんの思い

未熟児で生まれて体も弱く、心配していたけど、
今は元気に過ごしてくれることが嬉しい。
興味があることにはほとんど集中できるので、好き
なことや自信をもって出来ることを
増やしてあげられたらいいな



生育歴

- ・34 週0日 1850gで出生。
- ・3 歳児健診で言葉の遅れを指摘された
- ・3 歳から〇〇保育園入園。加配保育士対応あり

受診・検査等の記録

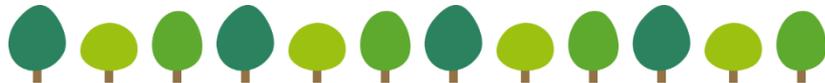
(前年度からの追加事項のみ記載で可)

- R2.3 月に◎◎病院で発達検査を受ける予定
(前回は3年前に実施)

本人や家族を支援してくれる人・場所など

- ① 家族 【 父、母、姉(中1) 本人と仲がいい。 】
その他【 〇〇市に住む祖母(土日に遊びに行くこともある。)、
※祖父母、近所の方、習い事の先生など 】
- ② 福祉サービス利用 ■放課後等デイサービス【 △△事業所 】
 保育所等訪問支援
 その他 【 】
 利用なし
- ③ その他の支援機関・支援者【 〇〇相談員、 】

保護者メモ



(日常生活で気づいたこと、懇談会等で支援者と話す中で成長を感じたこと、頑張りたいと思うことなど自由に書き
留めておきましょう。)

7/1 国語のノートにぐちゃぐちゃと書きなぐってあるのを見つけた。本人に聞くと「早く書けなくて悔しい」と泣く。頑張ろうとする気持ちは成長と思う反面、何かいい方法はないのかな。

→7/20 懇談会で先生と相談。

12/5 懇談会。積極的にクラスの係活動に取り組んでくれるので、他の子にもいい刺激になっていると褒めてもらった。毎朝張り切って学校に行くのは自分の役割に自信が持てたからかな。成長が嬉しい。来年も本人が取り組みやすい役割を持たせてもらえるといいかな。

2/5 ほっとまんまカフェでピアサポーターの方から中学進学時のアドバイスもらった。まだ先と思っていたけど、あと1年で卒業。少しずつ本人と一緒に準備ができるように情報を集めていきたい。

令和(3)年度 サポートシ



ほく・わたし (たっくん) には

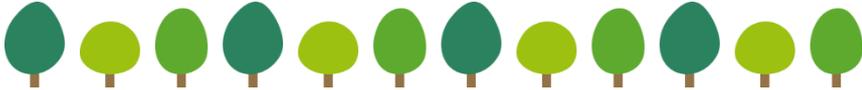
こんな特徴があります

愛称などを書いてもいいです



好きなこと・物・人は

- ・数字(計算)
- ・恐竜(博士)
- ・◎◎先生、△△くん です。



- 生活面** 身辺自立 (トイレ・着替え・食事・その他) 行動
- 睡眠 こだわり (対人・コミュニケーション面
- 感覚 (視覚、音、におい、触感、汚れが気になる、人込みが苦手、等)
- その他 ()

・次にやることが分からないと不安になることがある。行事の前は少し緊張する。流れが分かっていたら落ち着いて取り組める。

・友達の反応を気にせず、自分がいいと思うことを一方的に話したりすることがある。「いやだ」と言われれば辞めることは出来るし、謝ることも出来ます。

こうすると出来るが増えます
(こんなことが出来るようになりました)

- ・予定の変更は丁寧に伝えてもらう。説明が納得できれば対応できます。
- ・係の仕事(配達係)をやることで自信がついた。「何かありますか」と先生に聞くことができるようになり、具体的に伝えてもらうと積極的に取り組める。



- 学習面** 理解面 多動(離席) 集中時間 (分くらい)
- 読み・書き 計算 宿題

・板書するのが苦手。時間がかかるのと、話を聞きながら書くなど同時に2つのことは難しい。頑張る気持ちは人一倍あるので出来ないことが悔しい

・新しいことを覚えるのは時間がかかる。繰り返すことで出来るようになることが多い。数字は好きで計算も得意。

・音読と漢字の宿題は取り掛かりにも時間がかかる。

こうすると出来るが増えます
(こんなことが出来るようになりました)

板書は先生が「ここが大事」と言われたところや赤字で書いた所だけノートに書くことにしてみた。

本人も先生の説明に集中しやすいので楽になった様子。



その他 (あれば自由に)

今自宅で取り組んでいること、親御さんの心配ごと、上のどの項目にも当てはまらないが、支援者に伝えておきたいこと等を自由に書いておきましょう

こうすると出来るが増えます
(こんなことが出来るようになりました)

成長記録として出来るようになったことも追加して書いていくといいです。



サポートブック サポートシート つくってみませんか？



サポートブックとは・・・お子さん（ご本人）が初めて接する人（先生や支援員さん）に、特徴や接し方を知ってもらうための情報を書いておくものです。食事やトイレ、着替えの方法など、関わり方、得意なこと、苦手なこと、必要な情報を書いておきます。

（入学前、園児の場合はこちらの方が書きやすいです）

サポートシートとは・・・内容としてはサポートブックと同様ですが、学齢期にも使いやすく簡略化されているため、書く手間が少ないメリットがあります。懇談会などで相談する際のコミュニケーションツールとしても利用できます。

普段の生活で困ったこと、支援者に知ってほしいこと、相談したいことを気軽に書き留めたり、成長を記録するのもにも活用できます。

コピーをとって学校や事業所等で保管してもらうことも可能です。



今まで懇談会でうまく相談できなかったけど、事前に書いておくと聞きやすかった。先生に思いが伝わった実感があった。



出来ないことに目が行きがちだけど。サポートシートの記録を振り返るとこの子なりの成長が見えてきた。親としても頑張ってきた自信になる。



年度ごとに記入することで、子どもの成長や支援について見直す機会になる。進級や進学時も情報の整理がしやすくなった。

サポートシートの作り方

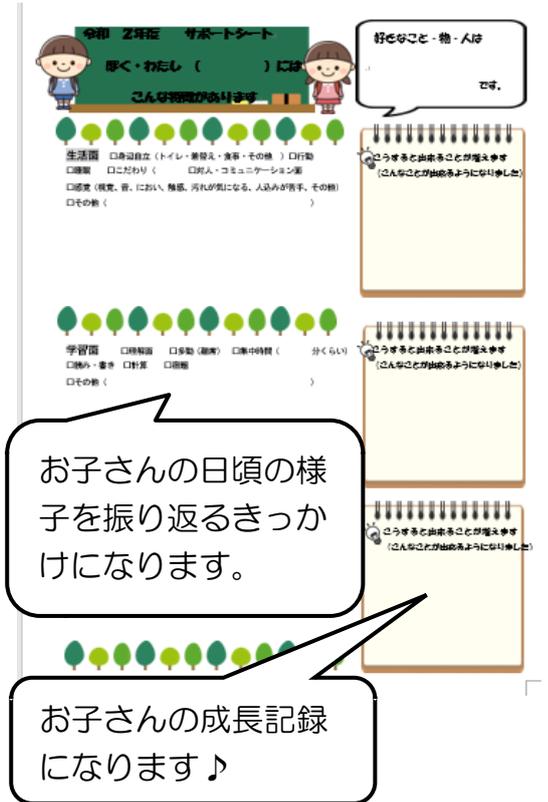
Q.どんな時に作成するの？

- ① 入学・卒業時 ② 進級時 ③ 懇談会 ④ いつでも
 - ・ 支援者に子どもの様子を伝えたい
 - ・ 成長記録として簡単に日々の記録が残したい
 - ・ 学校や家でどんな支援が必要か相談していきたい
- など



Q どんなことを書けばいいの？ 記入例があります。

- ・ お子さんの様子だけでなく、子育ての中で感じた嬉しいこと、困ったことなど気楽に書き留めておくだけでもいいです。
- ・ 学校や事業所とは違う家での姿を、支援者と共有することで新たな発見や支援の糸口が見つかるかもしれません。



Q どこでもらえるの？

配布場所【碧南市社会福祉協議会 地域福祉課】 山神町 8 丁目 35 番地 TEL 46-3701
 【碧南市役所 福祉課】 松本町 28 番地 TEL 95-9884

『サポートシート』『ぷちサポートブック』『サポートブック』は「碧南市 ぷちサポートブック」・「碧南市 サポートブック」で検索 市役所のホームページ www.city.hekinan.lg.jp からダウンロードできます。

サポートブック サポートシート



ご存じでしょうか？



サポートブックとは・・・お子さん（ご本人）が初めて接する人（先生や支援員さん）に、特徴や接し方を知ってもらうための情報を書いておくものです。食事やトイレ、着替えの方法など、関わり方、得意なこと、苦手なこと、必要な情報を書いておきます。

（入学前、園児の場合はこちらの方が書きやすいです）

サポートシートとは・・・内容としてはサポートブックと同様ですが、学齢期にも使いやすく簡略化されているため、書く手間が少ないメリットがあります。懇談会などで相談する際のコミュニケーションツールとしても利用できます。

普段の生活で困ったこと、支援者に知ってほしいこと、相談したいことを保護者が気軽に書き留めたり、成長を記録するのも活用できます。

コピーをとって学校や事業所等で保管してもらうことも可能です。

サポートブック・サポートシートを受け取られた先生、支援者の方々へ



- ① 保護者が記入したものを持参されたら、原本（またはコピー）を受け取り、支援にご活用ください。（内容は個別支援計画に反映できる部分もあります）
- ② 懇談会など面談前に受け取られた場合は、事前の一読いただくと面談時にお話がスムーズに進むかと思えます。
- ③ 記載は保護者が行います。保護者のお子さんへの思いや、日頃感じている心配ごとなども併せて読み取っていただくと嬉しいです。
また、保護者自身が記入する中で、お子さんの様子の振り返りや成長を感じる機会になればと思います。
- ④ 新しいシートやブックを保護者から希望された場合は、下記の配布場所やホームページをご案内ください。

配布場所

【碧南市社会福祉協議会 地域福祉課】 山神町8丁目35番地 TEL46-3701

【碧南市役所 福祉課】 松本町28番地 TEL95-9884

『サポートシート』『ぶちサポートブック』・『サポートブック』は
「碧南市 ぶちサポートブック」・「碧南市 サポートブック」で検索
市役所のホームページ www.city.hekinan.lg.jp からダウンロードできます。